月刊婦人政治雜誌

婦選

昭和二年二月號　第一卷第二號

□婦選第二號主要目次□

▼第五十二議會と婦選案……市川
▼無産政黨と婦人……吉田
▼議會傍聽記……伊藤
▼陣頭の人―中澤女史……金子
▼汎太平洋婦人會議其他
▼何ぜ婦選がほしいか…河瀬、大平
▼英國婦人と參政權　ガンドレット
▼花柳病豫防對策……竹内
▼大きな忘れ物……塚本
▼斷想……平塚
▼二月の歌……中河
▼自由民權時代の婦選運動…福田

第五十二議會と婦選案

婦選獲得の順序

婦選の獲得とは、これを正確にいへば、婦人の參政權を認めるやう現行法律を改正するといふことである。然して其法律の改正は、立法權を附與されてゐる帝國議會に依らなければならない。

議會に於て一つの法律が改正される爲には、先づ第一に政府若しくは議員(この場合には廿五名以上の贊成者を要する)より衆議院(或は貴族院)に該法律改正案が提出されねばならない然して後本會議に上程されて委員附託(多くの場合)となり、委員會に於て審議決定の上再び本會議に上程されて決を採ることになる。その結果若し可決されゝば更に貴族院(或は衆議院)に送附され、前と同樣の手續をふむことになる。かくして貴族院をも通過すれば上奏の上御裁可を經て公布されることになり、玆に初めて法律としての効力を生ずるのである。

議會へ提案される形式には、法律案の他に建議案といふのがある。これは議員から提出されるもので矢張廿五名以上の贊成者の署名を要するが院議として政府に建議するといふ趣旨に止まるので、よし通過しても、直接法律上には何等の影響も及ぼさない。

かるが故に婦選運動にとつては、政府及議員をして法律案乃至は建議案を提出せしめ、然して之れが通過を計る事は、極めて重要なる任務といはなければならない。

勿論我等はこの對議會運動を以て婦選運動の總てであるとは考へてゐないし、又其の運動の態度については我等としての信念を有してゐるが、之については他日改めて述べる事とする。

婦選案とは何か

我等が所謂婦選案として今次の議會に提案さるべく盡力しつゝあるものは、左の三である。

第一　政治的結社加入の自由を獲得する爲の治安警察法中改正法律案、

第二　公民權を獲得する爲の市町村制中改正法律案、

第三　選擧權及被選擧權を獲得する爲の衆議院議員選擧法中改正法律案、

婦人の政治結社

我等婦人は治安警察法第五條第一項中に於て、政治的結社卽政黨に加入することを禁止されてゐる。從つて已成政黨は勿論、最近簇出した無産政黨にも黨員として參加することが出來ない。

此案は昨年の第五十一議會に於ては議案輻輳の爲、委員附託の儘で審議未了に終つたが第五十議會では衆議院を通過した。

因にこの第五條中には婦人の政談演說傍聽禁止の條項さへあつたが、これは新婦人協會の運動によつて大正十一年に改正され、結社の點だけが殘された。

公民權の要求

公民權は市制第九條(町村制第七條)に於て「帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ二年以上市(町村)住民タル者ハ其市(町村)公民トス」と規定され、婦人は全然除外されてゐる。右現行法は第五十一議會に於て政府案として提案され可決されたもので、當時政友會側から世帶主の婦人には男子同樣公民權を附與する修正案が提出されたが否決されたのであつた。然し建議案として五十議會に於ては衆議院を通過してゐるので、今議會に於ては前條中「男子ニシテ」とあるを「モノハ」と改正する法律案卽婦人にも男子と同樣の條件の下に公民權を與へる案の提出されるやう盡力することゝなつてゐる。

婦人參政權の要求

現行の衆議院議員選擧法は、所謂普通選擧法として殆ど制限なしに第五條に於て二十五才以上の總ての男子には選擧權を、三十才以上の總ての男子には被選擧權を與へてゐるが、我等はこの法律に對しても男子同等の權利を與へられるやう法律を改正すべく運動する筈である。

右の案は建議案として已に第五十議會及第五十一議會に於ても可決されたが、法律案としては一度も提出されたことはなかつた。

右三案の提出は、一政黨や一議員に依らず出來るだけ各政黨に屬する議員多數の協力に依てなされるやう、然して其の實際運動は他の婦選團體と協力の下に行ふことになつてゐる。(ふ)

婦選ニュース

▽婦選團體の對議會運動聯合成る

昨年末婦選團體の間に、對議會運動を聯合で爲す議が熟しつゝあつたが、一月十一日文化アパートメントにその會議が催され、婦人參政同盟、婦人參政三派聯合會、女子參政協會、婦選獲得同盟の四團體出席、提出案の內容運動方針に就て協議した結果協定を見たので、愈々聯合運動を行ふ事に決定した。

▽婦選團體聯合議員招待

二十日午後六時議院內燕樂軒に於て各團體聯合で開かれたが恰も停會の日に當つたので出席者は僅かに植原悅次郞、田淵豐吉、松本君平の諸氏であつた。其上議會の風雲も定まらぬので、懇談して散會した。婦選團體側の出席者は、婦人參政同盟の高橋、高木、中林、女子參政協會の山根、日本婦人參政權協會の沖、婦選獲得同盟の市川、田中、八木橋、その他二十余名上京中の和田富子氏も出席した。

▽婦選に關するラヂヲ放送

東京中央放送局では一月十日から「大正年間に於ける婦人問題」の題下に連續婦人講座を放送したが、その第二講「婦人と人權」は婦選獲得同盟總務理事久布白落實氏、第三講「僅かに芽生えた婦人運動」は同會前會計理事中澤美代子氏で何れも婦選運動に言及された婦選に關する放送はこれが嚆矢である。

▽婦選に關する新聞雜誌記事

議會シーズンに伴つて、婦選の記事が大分方々に載せられ初めた。婦人公論二月號の河田博士、鈴木文史朗氏の評論、ワールド二月號の坂本眞琴、高木富代、金子茂諸氏の「女性のみたる若槻內閣」一月十七日大阪朝日社說などその一二である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

停會となつた五十二議會

解散かと見えた五十二議會は俄然政局が一變して急轉直下停會に次で三黨の妥協が成立した。

在野の政友會、政友本黨が共同して政府を倒すべく用意おさ／＼怠りなかつた事とて、政府が豫定通り政策實行の一本槍で迫まうとすれば、當然正面衝突は免れまい。野黨勝つか、政府が如何切拔けるか、ともあれ解散はたゞ時の問題だ。それが何時になるか國民はひたすら、議會の再開を待つてゐたのである。

◇

十八日、議會は再開された。豫定通猛烈な質問戰の火蓋が切られ、政本兩黨は代る／＼朴烈、綱紀、不景氣の所謂三問題を以て肉薄し、政府糾彈の火の手を高め、終に十九日、政本提携して提出した所の、朴烈夫妻の減刑奏請書類の發表を政府に迫るの緊急動議は可決した。愈々急場に押し詰められた政府は、二十日議院法第七十四條により、事機密に亘るを以て發表は出來ないと拒絶を傳へると共に間髪を容れず、停會の詔勅が下されてしまつた。

◇

停會になると直ちに若槻首相は、田中政友、床次政本の兩總裁に會見を申込み大葬前であるから出來るだけ政爭をさけられたいと兩黨の反省を促した。その結果は遂に三黨首の間に妥協が成立し、野黨は不信任案を徹回し、豫算案は大體承認すること、朴烈問題、松島事件、機密費事件の樣な問題については今後議場で論議ないこと、つまり泥試合を止めて議會の品位を高めることなど、出來るだけ協力して今議會を無事に終らせることに話が纏つたので、三黨首は次の申合を發表することゝなつた。

申合

新帝新政の初めに當りお互に政治の公明を忍むをもつて今後は各自黨員を嚴に戒飭して言論を愼み益々國民の議會に對する信賴を厚くする事に努力すべし

◇

これでまんまとお芝居が打たれたのである。呆れたのは國民ばかりではない。代議士たちは、何故こんな馬鹿々々しい結果になつたのかといきり立つて其理由の發表を迫つたりして居るけれども、肝心の首領たちが腹を合はせて『深甚なる考慮を拂はれたい』とのみ默り込んで了つたのだから始末がつかない。

大葬後政府が總辭職をする肚をみすかしての妥協だともいはれゝば、政本提携といつても實際は政友會に本黨がくつついてゐるやうな形から、本黨が脫したい爲にかいた一幕だともいはれてゐる。本黨の後についてゐる貴族院の研究會一派の力が黑幕で、馬鹿を見たのは政友會だといふ事になつてゐる。

◇

とにかく我々にはそんな舞臺裏の事は少しも解らないけれども、政見を異にする爲に相對した野黨が、政爭を止めて政府の御膳立の豫算を、大體結構でムると箸を取る事に爲つては何の爲の不信任案なのか解らない。引込められる樣な不信任案なら初めから持ち出す値打がない。

要するに三黨とも解散が怖わかつたのだといはれても一寸申開やうはあるまい然しながら、在野政黨の不信任案は徹回されても國民の不信任案は徹回されたのではない。國民は己成政黨の泥仕合に呆れ果て、普選による總選擧をまちこがれるばかりである。

いくら解散を逃れても、一年後にはその時が來るのである。うま／＼と打つた積の芝居でも、國民から見れば斷末魔の悲鳴としか聞えはしない。

議會は廿日から三日間で終り、廿五日から更に議會は開かれてゐるけれども、張りつめた力の拔けた今議會の今後は大抵見當がついてゐる。(二十六日記)

時事抄

▼**對支外交重大に際す**

三日漢口に於て廣東中央政府宣傳隊が排英演說を行たので英國の義勇兵との間に衝突が起り双方に死傷を見たのが原因で爭亂が起り、國民軍は六日英租界を占領、次で九江英租界の警察權も同樣支那の手に歸し、形勢惡化直に上海に波及十二日英人經營の怡和紡績に大暴動が起り十三日英國陸兵は香港から上海に送られ

婦選團體聯合代議士招待會
(一月廿日燕樂軒にて)
詳細は第一面婦選ニュース參照、寫眞の右端は市川房枝氏、次は松本代議士、植原代議士、一人おいて高橋、藤原、高木、中林の諸氏左列立てるが山根氏、

英政府は在支英人の引揚を命じ、列國の對支外交は緊張して來た。我が國でも國民政府は共産黨と通じて左傾的であると排擊を主張するものと日支關係は特殊なもので共存共榮の爲我國は支那の進步發達に助力指導すべしとの二說に別れ、貴族院が力を入れてゐるが、政府の態度は單獨にても支那を援くるに傾いてゐる。

▼**無産政黨のその後**

社會民衆黨は解散後の總選擧にそなふべく、己に、安部磯雄、鈴木文治、片山哲其他合計九名の公認候補を推薦、遊說などにも着手した。因にその政綱中には婦人參政の確立をも擧げてゐる。

勞働農民黨の議會解散運動は、再開と共に再起、十八日即時解散の示威的屋外大會を企てた所、不許可となつた。

日本勞働黨はかねて勞働農民黨から、日本農民黨、社會民衆黨の排擊に提携を申込まれてゐたが最近これを拒絕することゝ決した。

▼**松島事件に關して**

豫審決定の結果、有罪となつた松島事件の被告箕浦勝人氏は、三日不滿の聲明書を發表し、同岩崎勳氏は八日決定は違法なりと抗告の申立をなしたが、政府は何れも取上げてゐない。僞證事件は十五日全部不起訴と決定した。

豫審終結後病氣を以て引籠つた角南豫審判事の一身上に關しては、種々の疑惑が行はれてゐる。

▼**大山教授の辭職問題**

早稻田大學教授大山郁夫氏は先頃勞働農民黨の中央執行委員長に推されてこれを受諾したが、十四日聲明書を發表して辭職を發表し、斷然黨務に力を入れる事となつたが、辭職の背後には壓迫の手があるといふので少壯教授の一部及學生側には强い留任運動が起り、學校當局も困難なる立場に立つたが、遂に辭職を認める事となつたので、學生側は更に運動をつゞけてゐる。

▼**娼妓再び吉原脫出**

吉原長金花樓の娼妓千代駒は先きに白蓮女史の許に脫出した春駒の例に倣ひ、十三日夜廓を脫出、芝の日本勞働合同組合の會合半ばに飛び込み、岩內善作氏に救ひを求めたので、自由廢業の手續をとられることゝなつた。

▼**貧困寡婦の數**

內務省では兒童扶助法實施の準備として貧困寡婦の數を調査したが、その貧困標準による寡婦の總數十六萬六千余人、愛知が最多數で二五四〇人、次が東京の二二七八人、埼玉の二〇四四人で、最少は奈良年齡は卅五歲から五十歲が約六割六分を占め、廿圓から四十圓位稼いで四疊半一間位の生活が大部分を占めてゐる

▼**女教員大會日決定**

帝國教育會主催の全國女教員大會は本年は五月廿二日より四日間、開催地は神戶と決定した。

▼**日女大綜合大學開校**

文部省の不認可から行き惱んでゐる日本女子大學の綜合大學は、折角準備が整つてゐるのだからと、四月から認可の如何に不拘、開校と決定、己に豫科百六十名の募集を開始した。

▼**東京女醫盟休**

指定問題で紛擾を重ねてゐる東京女子醫科醫專の生徒三百名は十一日の新學期からも登校せず、教授會父兄會と結んで校長排斥の盟休を續けてゐる。

▼**移動式學政女家校**

農村子女に廣島縣農會が計劃したもの十日開校、修業年限一ケ年、三ケ月寄宿舍で後は家庭實習、農村婦人に適した教育を受ける。

▼**聯婦本年度役員**

東京聯合婦人會は廿日の總會に先き立ち十一日役員改選を行ひ、委員長吉岡彌生、副委員長守屋東、書記金子茂、會計田中芳子、德永恕の五氏が當選した。

▼**ゴルドン女史來朝**

世界婦人矯風會々頭ゴルドン女史は三月東洋旅行の途に上り、四月頃日本にも來朝する筈。

▼**廢娼、禁酒の議會運動**

矯風會、廓淸會では廢娼の請願運動を廿五歲禁酒案は禁酒會と矯風會で案の提出に盡力中。

▼**女子教育振興委員會**

十七日の會で女高師昇格問題にも着手することゝなり、近く茨木東京女高師校長の意見を聽く筈。

▼**女子青年團の計劃**

文部省では女子青年團を男子兩樣全國的に統一する爲に大日本聯合女子青年團を創設する筈で準備中、理事には婦人を加へる筈。

▼**看護婦の全國的團結**

最近赤十字社內に全國的な看護婦協會創設の計劃があり、目下組織の研究中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

無産政黨と婦人

市川房枝

無産政黨の種類や組織の大體については、第一號で述べましたから、此度はそれ等の無産政黨と婦人との關係を簡單に書いてみます。

婦人に關する政策

無産政黨と稱せられる日本農民黨、社會民衆黨、日本勞農黨、勞働農民黨の揭げてゐる具體的な政策をみますと、婦人に關するものが尠なからずあります。

今左に特に婦人に限つてゐるもの及婦人に大きな關係があると思はれるものだけを擧げてみませう。

▽日本農民黨

普通選擧の徹底（婦選を含む）

少年婦人勞働の保護

女子人身賣買の禁止

▽社會民衆黨

普通選擧の徹底（婦選を含む）

女子に對する法律的經濟的差別の撤廢

▽日本勞農黨

普通選擧の徹底（婦選を含む）

婦人及滿十六才以下の少年の夜間勞働、船内勞働、坑内作業、危險作業の禁止

女子人身賣買の禁止

▽勞働農民黨

普通選擧の徹底（婦選を含む）

少年及婦人の夜間勞働坑內勞働及危險作業の禁止

女子の公法上及私法上に於ける差別撤廢

女子人身賣買の禁止

女子敎育及職業に關する一切の制限の撤廢

各政黨共通の政策

右に擧げた條項をみますと、右翼よりも左翼の無産政黨に婦人に關するものが多いやうに見えます。

然しよく注意して見ると、右の政策なるものは各政黨によつて分類の標準が違つて居りますから、その數だけで、どの政黨が最も婦人に理解があるかを決定することは早計になります。

例へば勞働農民黨の『女子の公法上私法上……』及『女子敎育及職業……』は、社會民衆黨の『女子に對する法律的經濟的……』の中に含まれてゐると見られますし、又社會民衆黨には婦人勞働者の保護の條項がありませんが、これは同黨の他の政策の一つ『國際勞働條約の實施』の中に含まれてゐることは確かです。

尚政策として文字の上には揭げられないもので主張されてゐるものもあります。例へば社會民衆黨には女子の人身賣買禁止を明示しては居りませんが、同黨書記長の談によるとこれも政策の一つに數へられてゐるやうです。

すると成文不成文を問はず分明してゐるものだけについてみますと、四つの政黨は全部

婦人參政權

勞働婦人保護

女子人身賣買禁止

を主張してゐることになりますし、更に社會民衆黨と勞働農民黨は

婦人の敎育、法律、經濟上に於ける差別撤廢

を揭げてゐます。

婦人に關する政策の多い理由

既成政黨はその憲政會たると政友會たるとを問はず、直接婦人に關する政策はかつて一度も揭げたことはありませんでした。然るに此度組織された無産政黨が、揃つて斯樣に婦人に關する問題を揭げてゐるのは如何なる理由によるでありませうか。

無産政黨は前にも申しましたやうに、普通選擧に依て新に選擧權を獲得した人達―即前には三圓の直接國稅を納め得無つた所の月給取、小作人、勞働者――即無産者によつて組織されて居ります。然して何れも、今日迄の政治は少數の貴族、金持等の特別に權利を持つた人達即特權階級によつて行はれ、既成政黨はその手先きに使はれて來たのだと攻擊し我等は多數の無産階級の利益を擁護すると同時に社會正義に基く健全な國民政治を樹立することを目的とすると宣明して居ります。

婦人に對する態度に關しては宣言綱領等には少しも言及して居りませんが、二三の書かれたものについてみますと、或は

『無産政黨は婦人を奴隷視した封建制度の殘骸をも一掃する責務を持つてゐる』とか

『無産政黨は被搾取者として共同の立場に立つ全無産階級の問題を提げて立つ政黨だから、婦人の問題を含むのは當然だ』

『婦人問題としては扱はない、無産階級の利害に關する限り、之を無産階級の問題として取扱ふ』といつた立場から、前に揭げた色々な條項が生れて來てゐるやうです。然しこの關係については各政黨によつて多少の相違があり、議論もあるやうです

無産政黨に對する婦人の態度

然し議論は兎に角、かくの如く婦人の問題をかゝげてゐる政黨の組織されたことは我々婦人にとつては誠に喜ぶべき事といはねばなりません若し無産政黨に屬する議員が多數選出され、延いては無産政黨が政權を握るに到つたならば、我々が要求してゐる婦人參政權の獲得は勿論、敎育上、法律上、職業上等に於ける平等の權利も得られ、所謂今日婦人問題として擧げられてゐるものは大部分解決されることになります。

然しながら文字を列擧することは容易でも、それが實現をみるには種々な困難を伴ふものです、從つて、たゞ此の事實だけをみて直に私達の手を休めてはなりません。無産政黨をして出來るだけ早く、それ等の政策の實現に着手せしめ、その成果を期せしめることが肝要です。

それが爲めには無産政黨の中に這入つて內から努力する方法と外から監視する方法とがあると思ひます。然しながら政黨に加入する自由もなく監視するだけの權力――參政權――も與へられてゐない現在の私達としては、唯私達同性の協力による團結の力を以て臨むより他ありません。（一月二十六日）

二月の歌

中河幹子

流れつゝ雲青白く照りけり月の光は澄みまさるらし
久々に出でこし庭や霜枯れてくまざさに風の音の寒けさ
日向べはほかぼかとして梅が枝の張り枝に赤き蕾のこゝだ
丘の上の君が家見ゆこの坂にくれば聲あげて名を呼びたしも（吉屋信子樣に）
女らの幸の爲めとおのが身をけはしきにおける人を思ふも（金子茂樣に）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

汎太平洋婦人大會その他

金子しげり

汎太平洋婦人大會について

明後年七月ハワイで開かれる汎太平洋婦人大會には、日本からも代表者を出して欲しいと、主催者の汎太平洋同盟からは已に一部分に向けて個人的に頼んで來てゐる上に、主事のフォード博士が舊冬來朝して、一部の婦人を招いて打合會を行つた。

聞く所によると、其時の顔觸れは格別團體の代表といふのでなく、小數の一部分の婦人が個人的に集められたらしく、フォード氏は二月、支那からの歸途に再び立寄つて、更に具體的の相談をする筈で、代表の人選其他を其人々に依頼して行つた。

◇

汎太平洋婦人大會は初めての企だけに種々期待も興味も持てるし、是非日本からも適當な代表を送りたい。それには選出の方法が根本問題だ。

私の聞いた所では、主催者側にも餘りはつきりした準備がないらしく、とにかく日本からも相當の婦人が相當の人數出席して呉れゝばよいといふ程度のやうに見える。

大會は、保險、教育、勞働婦人及職業婦人、婦人と政治、社會事業の五つに分れてゐるが、今迄に日本側から推薦した人々は、與謝野晶子、山川菊榮、平塚明子、市川房枝、奥むめお、久布白落實、守屋東、河井道子、井上秀子、石本靜枝その他相當の數に上るが分類も守屋氏が婦人勞働方面に入つてゐるやうな例が多く雜然とした個人の推薦に過ぎない。

代表の資格も、數も、判明せず、費用も上陸後の一切は主催側で辨ずるから、往復旅費約五百圓―船賃が割引されるとして―以外にはまづ大して入らないといふが如何だらう。

◇

五百圓持つてハワイ見物が出來るとなつたら、時と金に餘裕のある婦人には持つてこいの話であらう。五百圓あれば自分たちの代表が送れると成たら、大分考へ直していゝと思ふ人も尠く在まい。ジェンアダムス女史が名譽會長ではあるが初めての企とて、どれ程の會が開かれるかは判明しないが、ともあれ汎太平洋の婦人が集るには違ひないのだから、私達は考へてみる必要がある。

私達はかういふ機會を正しく利用するやうにならなくてはならない。そして眞に日本婦人の意志を代表するに足る代表を送らなくてはならない。それは私達の義務であり、責任である。

◇

ド氏の相談に預つた人々の間には二月迄に何とか話が進められるだらう。已に適當な方法も研究考慮されてゐやう。だが願くば、單なる個人的、社交的の態度を以てこの問題を取扱はれたくない。廣く一般の婦人の輿論によつて決されたい。

それには委員會でも作つて其人々が中心となり婦人の各方面の團體の意見を徴するとか、各方面にそれぞれの代表選出を任せるとか、或は新聞社等と携へて、廣く一般婦人の投票を得るも一策であらう。要するに出來るだけ合理的な方法で、全日本婦人の意志を代表する人々を送り出すやうにお互が考へたいものである。

昇格か改革か―女高師問題

女子教育振興委員會では嚢に大學令による女子大學の認可問題で、文部省は勿論法政審議會にまで運動の歩を進めたが、今度は更に女高師昇格問題にまで手を染めるらしい。

女高師の昇格は理論上當然であり女子教育問題中、高等教育が最も重大とは考へられないけれども、振興會の動き方としては妥當であらう。

先年東西の男高師が昇格運動を行つた時、女側の協力を求めたが、卒業生は手を出さず學生は無論動く事が出來なかつた爲に、結局は女側がおいてけぼりを喰てしまつた。

東京女高師には昨春以來學校改革の火の手が内部に起つてゐると傳へられる。内容は發表されないが、昇格の問題にも何等かの形で觸れてはゐやう。とにかく教授側の態度はかなり強いらしい。

昇格も改革も、何れも已に行はれてゐるべき運動であつた。勿論いまからでも遲くはない。學校改革の聲は學生の間にも相當あるが、これは形を現はすまでには困難がある。現さないかも知れぬし、現さずに濟む方がよい。卒業生で組織してゐる櫻蔭會、これが未だ起つてゐない。然しながら眞の改革は母校を愛する者の手で成し遂げられるはづだ。お茶の水は日本女子教育の淵源であつてこれが改革はやがて日本の女子教育の根本的改造である。櫻蔭會の責任にはかなり重大なものがありはしないであらうか。（一九二七、一、二六）

婦選運動の陣頭に立つ人々

二、中澤美代子女史

伊藤伸子

中澤さんは婦選獲得同盟が生れてからの婦選運動者である。然も最も有力な一人である。

女史が生活改善や勤儉奬勵に有力な働き手である事、東京府立第三高女の家事の先生として錚々たる教育者であることも已に知られてゐやう。略歴をみると「明治卅四年東京女高師國漢專修科卒業岐阜高女に奉職、卅七年渡米在留八年其間小學校から、ハイスクールを經、シカゴ大學に家事經濟理科を、オハイオ大學に法律を學び、後歐洲に渡り倫敦に三年修學、大正三年歸朝以來府立第三高女に教鞭を執る」とある。

婦選獲得同盟創立の當初、女史も擇ばれて發起人候補に擧げられた。當時女史の名は東京聯合婦人會が催した兒童保護デーに隨一殊勲者として漸く高くなりつゝあつたのでさういふやり手を引込めてはおけぬといふ譯で在たらしい。所で發起人會に出席した筈の女史が見えない。委員は相憎一人も女史に面識がない。欠席と見做して會を開き、念の爲名を呼び上げて行くと突如聲が起つた『中澤は玆に居ります。先刻から一時間も待つて居ります。私は多忙な體を出して來て居ります。何卒速かに會をお進め下さらんことを』

薄暗いバラックの灯の下に見出された中澤女史は定刻前から來てゐた、元祿袖に袴を穿いた痩せたおばあさんなのであつた。その中澤さんは創立と共に會計理事に選ばれどん〳〵と動き出した。明春元祿袖裏なしの着物をつけ、鰊丼や冷凍魚の榮養を說き、身を以て生活改善に盡す、勇敢にして悲壯なる女史の實行的精神は、今や婦選の爲に烈々として燃え上つたのである。

一文なしの新世帶で七十圓の事務所にさつさと入つたのも女史の英斷である。母校の同窓會で涙と共に婦選の要を說き立ち處に二十名の會員を得、こうした問題には冷淡とされた櫻蔭會員を續々同志に引入れた事は『中澤さんの　き落し』として婦選エピソートの中でも名高い。

中澤さんは確かに有數の雄辯家である米國でもその術を學んだといふ。然も氏の辯は實に氏の魂の叫びである。從つて必ず人を動かし奮起せしめずにはおかない。女史は女性をして完全なる女性とならしむる爲に、婦人運動の要を叫び、婦選獲得の必要を說く。運動に參加と決心した時まづ校長を數時間に亘つて說き、公然の許可を得たといふのも中澤さんらしいやり方である。

若い時藝術を志したといふ中澤さんは流石に純情な五十路の今日でも娘の樣な感傷に浸り得る苦さがある。夫君は尙米國に在るので、一家を負ふて二子の敎育と老母の孝養に盡して居られたが、昨年母堂は逝去され、爾來病床に旺々として樂まず、最近健康は恢復されたが、令息達の敎育上姑く第一線を退かれた。『何れは出そなといつても出る。此運動はまだ先が長い。命を捨てる者も入る』。

これが中澤さんの心だ。婦選には已に決死隊がある。其人々は靜かに戰闘力を練りつつ其出馬の日を待つてゐる。最後の合戰に差詰實盛役の中澤さんの武者ぶりを筆者も早く見いと思つてゐる。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦選講座

英國婦人と參政權(その二)

ガントレット恒子

ミル氏と婦人參政權

英國に於ける婦人參政權問題が政治の實際方面に這入つて來たのは、哲學者として政治家として獨歩の位置を占めて居つた、ジャン・スチュアート・ミル氏の著書と、彼が、一八六五年の總選擧立候補演說に、自分は婦人參政權論者であるといふ事を明言して、而かも大多數を以て當選したといふ著しい事實に基因したと云つても餘り的を外れた云ひ分ではないと申せませう。勿論、一八六〇年代の論壇は、選擧法改正、選擧權擴張問題などで賑つて居りましたから、當然其餘勢が婦選問題に及んで來た事は、事實であります。然し其當時の英國議會は誠に不眞面目で選擧法改正に對しても曖昧な態度を取つて居ました。立候補に際しては勞働者の味方として選擧權擴張を主張する議員達でも、當選して見ると有權者が多くなれば、其丈選擧運動に骨が折れるといふことを恐れて、容易に改正案を通過させやうと努力しなかつたのであります。しかも婦人は勞働者より數に於て多いのでありますから、ミル氏が骨を折つてもなかなか婦人に選擧權を與へやうと云ふ議員があらう筈はないのであります。然しながらミル氏の稀に見る眞摯な態度と、熱辯とは全議會に多大な感動を與へずにはおきませんでした。けれども、法文中の男子といふ字を「Person」に改めると云ふ案は通過こそ致しませんでも、豫期に反して、七十三人の贊成者を得て華々しく破れたのでした。

ギャッレト夫人と請願運動

ミル氏の名譽の敗北の報が傳はるや、丁度其頃からギャレット夫人の家に集つては、婦選問題を研究討議して居つた婦人の一團は、早速ミル氏にはかつて、請願書の作成運動にかゝりました。僅々二週日の間に、千四百九十名の署名を得ましたが、一八六七年の議會に此の請願書はミル氏によつて提出されましたけれども五月二日に再び破れねばなりませんでした。

斯く表面のあらはれはミル氏の提案は失敗に失敗を重ねたのでしたが此波のうねりは決して無益に消えてしまはなかつたのであります。即ち一八六九年、明治二年には婦人市民權が與へられ、翌年の一八七〇年には新教育法通過の結果、婦人に學務委員の選擧權並に被選擧權が與へらるゝに至つたのであります。斯くして選出せられた各地の有力なる婦人の學務委員達は其地方に於ける婦人達の指導者となり、參政權獲得運動の歩を進め、終に組織だつた團體を形造るに至つたのであります。

政黨政派に超越した運動

婦人運動のチャンピョンであつたミル氏は、一八六八年(明治元年)の選擧には落選しましたが、其後を承けて婦人參政權問題を提げて議會に現れたのは、ジェーカブ・ブライト氏でありました。一八七〇年(明治三年)五月四日には、一二四對九一の多數で第二讀會を通過したのでしたが、主として政府の反對が強かつたため、其以上の進行が出來ず、同月十二日には委員附託の動機が出たにも不拘、二二〇對九四で破れて仕舞ひました。英國に於ける婦選運動は初めから、黨派を超越して居ました、從つて自由黨、急進黨は本より保守黨の中にさへ澤山の贊成者がありました。然し何と云つても其當時――一八七〇年前後には自由黨が一番强い味方でありました。

一八七四年(明治七年)の議會閉會後には、吃度內閣の更迭があるに相違ない、そして、自由黨が內閣を組織するとすれば、同黨の提唱する農民解放に伴ふて、婦人解放も或程度までは進められるであらふとは、其當時の有識者間に傳へられた定評でありましたので、婦選運動に携つて居る者は、一樣に大きな期待を以て熱心に宣傳に努め、次の總選擧をまつたのでありました。

婦選運動とグラドストーン氏

一八八〇年四月五日の總選擧の結果自由黨が大多數となり、グラドストーン氏の下に、自由黨內閣が組織せられました。之を見た婦人參政權論者は勇み立ち、今度こそは何とか具體的成功を收め得ることであらうと各地の政治的集會に於ける、婦選贊成の意を表した決議文を振りかざして盛に示威運動を行ひました。

所が事は豫想外で、これまでは婦人參政權の原理を承認し、國家の爲にも、婦人自身の爲にも或程度まで婦人に參政權を與へる事は至當であるとの意を洩して居た、グラドストーン氏は、一八八四年(明治十七年)の改正案即ち婦人をも含めた選擧權擴張案が提出せらるゝに及んで、激しい反對を示し、「荷船は一定の重量以外の積荷を載せることは出來ないこれと同樣婦人は既に家庭に於て、重任を負つて居るのであるから、其上に政治上の重荷を負ふことは過重である。」との理由の許に現政府は婦人の參政權を受け容れる事は出來ないと云ひ放つたのでありました。(未完)

議會傍聽の記

吉田信子

日比谷公園を通りぬけて議事堂の前に出る。うす赤い屋根とクリーム色の建物は國政を參議する議事堂といふ名よりもずつと柔らかい感じを起させる。多分大臣や議員達の乘り捨てたのであらう、門の前には自動車がずらりとならんで居て、人の出入もはげしい。何人もの守衞がいかめしく警衞して居る門をはいると大勢の人が詰めかけて混雜して居る。大部分は男子ばかりである。

「三時間も待つて居るのにまだ傍聽券がもらへないのだ。」「今日はもうはいれないよ。」等いふ聲も聞える。私も名刺を通じてM代議士に傍聽券を御願ひしたが、M氏は今居ないといふ。困つて居る所へ仙人のニックネームをもつたT代議士が見えたので、同氏に御願ひして容易く傍聽券を手にした。滿員に付入場謝絕の札がかゝつて居たが「婦人席は空いて居るから御はいり」といふ。銀モール服を光らせた守衞の監視の中をくゞつて議場內にいる。議場の卵色の壁と磨硝子の格天井と相してしつとりと落ついた色調である。傍聽人は階上に鮨詰になつて居るのにその一隅の婦人席丈は割合にゆつたりしてゐるのは淋しい。傍聽席から遙かに見降す圓形の大堂の藍色の椅子に、壯者老者の議員が着席して居る。竹蒙腹らしい人ばかり。白髯を貯へたO氏が微笑して居るのが目につく。議員と向ひ合つて一段高い所に控へた議長、書記官長、各大臣も婦人席の足下に瞰下される。

折しも場內は議論が沸騰して居る。卓を叩く者、拍手する者、立ち上つて拳を握つて居る者等ある。この情景に氣を取られた私は途中から突然に出會つたこの議事の內容について、是速判斷をする事が出來ない。本氣か虚勢か分らぬ樣な怒聲、嘲弄、弄笑が耳に這入るばかりであつた。次いでT氏が登壇し「米國は陰密の間に廣東軍を援助して居るといふが外務省は之を認めるか」と露支關係について外相に質問をするが、長たらしくて一向に熱が上らない。外相は簡單に答辯してかたづける。T氏はその答辯に不滿らしく又クドクドと論じつゞける。「あつさりくもう解つて居る」「よせよせ」―などゝあちこつちから頻りに彌次が飛ぶ。じ氏が「外相の聲明は抽象的に過ぎる支那の情勢は既に對岸の火災視すべきものでない、日支共存共榮を何と解するか。」と對支問題について外相に迫るが、外相は同じ事を繰返すばかりである。

倦怠の氣が漲る。

議席も空になり、仲には疲れ切つてまどろんで居る者さへある。此熱した空氣の中で新聞記者と速記者はペンを走らせつゞけて居る。私もかなり疲れたので外に出る。外にはまだ入り切れぬ傍聽者が列をつくつて待つて居た。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大きな忘れ物

塚本ハマ

婦人を忘れた社會

この頃發表されたわが國の遺失物の調査によると汽車電車の中にも公會集合の場所にも大した忘物があるのだといふ事である。そしてある人はその原因を「國民性不注意に甚く」と言つてをられる。御尤な事だ御同感である。

そこでこの個人的遺失症はその集合體である社會にも表れない譯がない。

私の知つてゐる限りでは現代社會の忘れ物は、國民の半數を占める婦人といふ大きな團體であると思ふ。わが社會は實際婦人を忘れてゐる。

婦人の存在を意識してゐるものが帝都の朝夕のいはゆるラッシュアワーの電車を現在、あのまゝで放つて置く筈がない。將來にも十分なよい施設を有つてをるかどうか。私には豫想がつかない。

それでゐて識者といふ種類の方々は口を開けば仰せられぞ「婦人は婦人らしくあれ」と。そして又「婦人には情の教育が必要だ、優しみが女の生命だ、デリケシーのない女は女性としての價値がない」と。私はこれにも共鳴する。御尤な事だ。御同感である。

婦人らしさを保つには

併しどうすれば婦人が婦人らしさを保てるやうになるであらうか。社會はそれをどう考へどう設備を施してゐるのであらうか。

話はすこし失禮に當るが、公園内や停車場や町の辻々に設けられてゐる公衆の用達場を心して一度見て下さい。婦人を意識してゐる社會的設備がそこに見出されるであらうか。それどころではない。東京市内の二三の大デパアートメントハウスや大演劇場を除いては、大官衙であらうが大停車場であらうが、若しくは何々ビルディング、何々會館といふやうな文化的建築物でも、大概はドアーのない用達場で男子方が用達をしてをられ所を通過して婦人がその用達場へ入らなければならないやうな設備になつてゐる。

よしや一家内の者であつても、父親その他の男性が用達をして居る場所をズン〳〵平氣で通過して用達に行く女性があるであらうか。

不幸なる遺失物よ

婦人は婦人らしくあれといふお說に共鳴した私は、婦人に情育が必要だといはれたのを御尤と肯づいた私は、更に女性のデリケシーを尊むとの見解に同感の私は、怎しても我現代の社會を見つめて大きな忘れ物をしてゐると言はなければならない。

不幸なる遺失物よ、彼等は何時どうして情操をより美しく保つべき機會を與へられるであらうか。彼等のデリケシーをよりよく保つ方法を何時教へられるであらうか。

私は敢へて社會に向つて卒直に願ふ「婦人を忘れないで總ての施設をして下さい」と……それは女子の高等教育を願ふ前に。婦人參政權を希望する前に。

斷想

らいてう

○

婦人運動者に何よりも衷心寂しさを感じさせることは、自分たちの背後に全女性がひかへてゐないといふ意識ではないでせうか。前面にどんな大敵をひかへてゐても背後に女性がゐてくれるといふ意識さへあれば千萬の敵も金城鐵壁もなんのそのであります。併し前面に敵をひかへてゐるばかりか背後にも兩側にも別種の敵がゐる、否敵でないまでも自分たちを前面へと押し出してくれる大きな味方の力が感じられないといふうすら寒い感じ、これほど婦人運動者にとつてうらさびしいことはないでせう。

○

理論の上からはあまりに當然過ぎることであり、又自分たちは痛切に要求もしてゐても、多數の婦人が所謂術ふけども躍らずではまだ本當の社會運動としての根がおろされてゐないのだといふより外ありません。しかも絶えず背後からの刺戟、背後からの押し出す力のない婦人運動は他の總ての運動と同樣に何處にでもゐる少數の野心家の野心を滿すための手段に供せられる危險がありますかうして全女性との間の溝は益々深くなつてしまひます。

○

五六年前新婦人協會がはじめて婦人選擧權を議會に要求した當時はまだ大多數の婦人は何といつても、政治は男子の仕事で、女子には他に本分がある、參政權などは特殊な婦人にだけ要求されることで、一般婦人の生活とは係りのないことであるといふやうに考へてゐました。ところが今日の婦人はもうさうではありません、時代の變化と婦選運動者たちの努力によつて婦人の生活と政治とは密接な關係のあることが認められるやうになりました。しかしまだそれは理論上さう認めるやうになつたので、本當に各自の實生活上の切實な要求となつて内から燃え上つて來てゐるのではないのではないかと思はれます。これがもう一歩も進んでそこまで來るにはもつともつと婦選といふことが直接な感じで各自に迫つて來なければなりませんが、それには婦人達が現に最も痛切に感じてゐる一つの緊急な具體的な直接要求と結び付かなければならないのではないでせうか。言ひ換へればその直接要求を滿すための緊要な一つの手段として附帶的に婦選が要求される段取になつた方が却て具體化し實際化し、はじめて婦選運動なるものが生活そのものに即した運動としてもつとヴイヴイッドになつてくるのではないでせうか。

○

ところが[illegible]にその生活の上で婦人たちが最も痛切に感じてゐる緊急な具體的な直接要求といふものは必すしも全女性に共通なものではないでせう。階級により、地方によつて異る特殊問題の場合が多いかも知れません。從つて婦選がもつと各階級の又各地方のさま〴〵な婦人團體から別々に、各々異なる特殊問題と結び付いて要求されるやうになつた時本ものになるのではないかと思はれます。――改めて言ふほどのことでもありません。（一五、九、六）

□　山川房子

ありがたき御代の光にあひながら
踏みしだかれし野邊のなでしこ

いかならむ父母の御恩は同じきを
國のさばきにへだてあるとは

國のため權利も義務もとも〴〵に
荷ひてたゝむ大和なでしこ

わが友よしのび〳〵し屈辱を
ともに叫ばん正義のために

婦選のためおなじ想ひのはらからよ
雄々しく起たん正路ふみつゝ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花柳病豫防對策

女醫　竹内茂代

花柳病蔓延の狀態

文明と花柳病は併行するものと云はれて歐米も我國も均しくなやまされてゐる。特に結核と花柳病は國民病として大問題になつて居る。之れを撲滅しやうの運動は起り、當局も亦種々の法律に依つて撲滅を講じて居る。けれども中々撲滅どころで無く一日〳〵と蔓延して行く。

其蔓延の源泉は花柳界に在つて、之を男子が引受て、家庭の主婦に移植するとなつて居る。そして未婚者はこんな病氣を持つ筈が無いとせられて居つた。然し今日の實際狀態はと云ふと、勿論品行方正の男子が立派な婦人との間に營まるゝ、眞に純潔な家庭も無いではないが、數の上からは誠に少いもので、花柳病の内の黴毒か淋毒か何れかの一つ、或は二つを持つて居ると云ふ人は、男子の側は暫く置き、女といふものゝ内、花柳界の婦人は99％持つて居ると云はれ、都會の種々の階級の女、家庭の主婦にさへ非常に多く、農村の娘人妻、女工等には想像以上多く蔓延してゐる事を知らねばならぬ。其結果は其本人の不健康より來る能力減退ばかりでなく、黴毒の如きは遺傳して、或は病弱の、或は低能の、或は不良性を帶びて犯罪をなす樣の子供を生む原因を造る事になる。

なぜ撲滅が困難か

何故斯く蔓延し、撲滅に困難かと云へば、病源體が微細のもので一度人體に入ると忽ち深く喰ひ入つて、而もチブスやコレラの如く其罹病者を是非とも床に就かねばならぬ狀態に苦しめない、即ち徐々に苦しめて急劇の痛楚を與へない、黴毒でも淋毒でも或時期を過ぎるとすつかり外部の症狀は消えて苦痛も無くなり先づ〳〵仕事に從事する事の出來る狀態になる。而も其潜伏期中と雖もどし〳〵傳染し遺傳もする。

加之一般の人は此病氣に就ての根本的知識を持たず、それ故ほんとの傳染の經路も、如何に恐るべき結果を遺すかも知らない。

もう一つ根本的問題は男子の性に對する考が良くない。即ち男子は能動的で眞の獨身生活は出來ないものだ、これが種族保存の根本だなどゝ云ふ。一應は御尤もだが性慾は全生活中の茶菓の樣なものと思ふ。それが無くても生きて居られる、唯少しく淋しい、又間食は習慣でしなければそれですむ、暇があつて餘裕のある人はそれからそれへと快樂を追ふ甚しきは性慾を充す事を男子一生の力であり、最大の幸福だと考へる人さへある。妻の産褥に居る間さへ愼む事なく慾を充そうとする人も多いそして接する處は病毒のある處より外にない。

接客業婦檢診問題

近頃問題となつてゐる公娼のみならず、接客業婦に檢診を行うて傳染を防がうとの案もある。其檢診の程度を如何なる程度とするか、現在の檢黴の樣に一寸肉眼的に診て通過させる範圍の物であつたら、第一期第二期の現はれた黴毒丈けは防ぎ得るとしても、其他のものは決して防ぐ事は出來得ない。

又接客業者と銘打つて居る婦人丈け斯した檢診をしたところが、病氣を持ちつゝ女に接する男、男に接する女はどれ程多いかわからない。

例令檢診を受けて其時は無病であつても、第一の客第二の客との媒介は如何なる程度に行はるゝかはつきりしない。

何うしたら良いか

以上の理由で現今の制度、現在の教育程度では花柳病撲滅はむつかしいと思ふ。

第一、男子の考を改革し性慾を其欲するまゝにしない事が必要である。

妻の病氣とか産褥とかの間には謹愼する考を持たねばならない。

男子が相當の年齡に達したら(廿五歲)妻を持つ事にした方が良い。

第二、娼婦(接客業者を云ふ)に教育を施して花柳病の原因、症狀、豫防法、應急手當を充分に敎へ其結果の恐るべきを充分知らしめ、自發的に檢黴を受ける樣にせしめ、自巳の危險と他の傳染を防がしむ。

第三、娼婦に以上の教育を授けた上で客の自由撰擇の權を許し、若し病氣ある男には拒絕することを許し又自己の病氣の時は絕對客に接せしめない樣に法の力で之を取締ること。

第四、一般の婦人にも若い男子にも徹底的に花柳病の知識を與へて善良の家庭幸福の家庭を營むには純潔を保たねばならぬ事を敎へる。

母の力で完成を

こんな氣長の方法では何時實現するやらと笑はれるかも知れない。然しこんな大事業は決して急に如何ともなし能ふもので無い事は覺悟せねばならぬ。

先づ奮ひ立たねばならぬのは母親である。婦人が親心を以て各自最愛の子に對して此の事を德育と知育の二方面から、乳と同時に飲ませて敎へ、當局と醫者と母親と三つ巴になつて、非常の努力と決心を以て當らねばならぬ大問題である。獨逸が黴病を撲滅せんとして百年計畫で成功した樣な覺悟でなくてはならぬ。

本誌のカット

本誌の題字及カットは全部、美術院の新進彫刻家木村五郎氏に御願ひしました。

反響

▼此度發刊の婦選、私共のやうに何所へでも出掛けて行つて、智識を得ることの出來ない者にとつて、なんと有難い師友でせう。ほんとに多大な御指導を戴くことを感謝いたします。「伯母の話」の中の、伯母さん……と、金子さんのお言葉、私は私に被仰つて戴いたやうな氣が致しました。(篠田みさよ)

▼夙く得るべくして、今何得られざる婦人參政權獲得のため『婦選』が奴隷解放のアンクルトムスケビンの役を勤めたきこと。婦人の敎育程度向上せし後、此の運動成功すべしと、是大なる謬論なり。今日の婦人の敎育程度にて已に男子の及ばざる女子獨得の崇高性を認むるに充分なり。唯權を與へられざる爲に發揮せざるのみ。私の母は、いろはが書けるだけ。それで父に出來ない務を十分に盡してゐる。今日の婦人は、或意味に於て公娼よりも辛い立場にある『婦選』は此の點から着手していただきたい。(藤田ミチヨ)

▼婦女新聞上にて婦選御發刊を知りました。男女の共力になる社會に於て未だ婦選の實施されざるは、眞に不公平なる社會と存じます。當然行はなければならぬ叫びを有形に現はされたことは慶賀の至りです。(齊藤佐武郎)

▼議會運動と共に一般の輿論を起すのに有力な講演會等はなるべく澤山開いて戴きたいと思ひます。一體講演會には殘念ながら女性の聽衆が少いのが通例のやうですから、宣傳などもなるべく前からして一般の女性に廣く知れ渡るやうに。ビラの内容などよろしく御考慮下さい。(すずき)

▼新紙上で拜見仕候『婦選』一部見本としてお送り下されたく不肖も共鳴者で當地方で心を盡しつゝある者です(石川縣淸水幸太郎)

▼日本の婦選運動も已に津々浦々に知れ渡りました。如何なる山村でも眞面目に考へられつゝある事は事實です。今は全力を擧げて女性大衆に働きかける秋と痛感しました。(信濃にて坂本眞琴)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自由民權時代の婦人政治運動

（自傳の一部）

福田英子

一　家庭

——買ひもの——

私が政治運動にたづさはつたのは十七歳の時でありましたが、そもそも政治思想の培養は、慈母が男勝りの教育者であつたので、知らず〳〵の間に男子と同じ教養を施したゝめだと思ひます。私が子供時代にどんな生立をしたか、序に其記憶を辿つて見ませう。

私は八九歳の時、屋敷内にて怜悧な娘と譽めそやされ、學校の先生達には活潑な無邪氣な弟子として可愛がられ、十一二歳の時、縣令（知事）學務委員等が臨驗の際、特に選抜されて、十八史略や、日本外史の講義をさせられるのを無上の光榮と喜び世に自分ほど怜悧なものはあるまいと、心私かに郷黨に誇つたものです

十五歳の時、學校の助教授となり三圓の給料を貰つて、子弟を訓導するの任に當り、日々勤務の傍ら、復習を名として、數十人の生徒を自宅に集め、學校の餘科を教授して、生徒に一年の內二階級の試驗を受けることの出來るやう奬勵したので、大いに父兄の信頼を得、一時は實に官立學校を凌がんばかりの隆盛を來した。

私が學校に通ふ途中、常に其邊の蠻白小僧のために『マガヒ』が通る『マガヒ』が通ると罵られて大いに惱まされたものです。併し此評言の適切なことは今も尙忘れることの出來ぬ好適評であります。

當時私は、實に其の『マガヒ』であつたのです。『マガヒ』とは、馬爪を龜甲に似せたもので、現今の護謨を象牙に擬せると同じく、似而非なるもので、私に此の評ある蓋し名評であると私は感心するのであります

今更詮なきことですが、私は其頃先生に活潑の子といはれたやうに、起居振舞のお轉婆であつたことは云ふ迄もなく、修業中は髮を結ふのが邪魔で面倒臭くて堪らなかつたので十五歳まで髮を剪つて前部を左右に分け着物まで男生のやうに裝ひ、しかも學校へは女性と連れ立つて通ふ樣が、近所の小供達に定めて異樣の感を起させしことゝ思ふ。さてこそ男子ともつかず、女子ともつかぬ、馬爪やら、龜甲やらそこに『マガヒ』の異名ありし所以でさすがの私も蠻白小僧に降參した譯ですが、若し五十年前の昔を今になすよしもあらばそれこそ『マガヒ』の惡罵を受けるどころか、歐米各國の貴夫人、令孃に率先した斷髮の大ハイカラとして賞讃を博せしものを、實に有爲轉變の世の中とて、現在還暦を二年越した六十三歳の私も現在、昔の『マガヒ』を當世の大ハイカラとして見る今昔の感や無量です。

やう〳〵世心の付き初めて、男裝を止め、髮を延ばして、其當時流行してをつた束髮の仲間入りをしたのが十六歳の時であつた。

——最近の福田英子女史——

二　自由民權

——乾坤一擲の計——

十七歳の時は、私に取つて一生忘れがたき年で、吾が郷里には、自由民權の論客多く集り、日頃兄弟のやうに親しみ合つた小林樟雄氏の如き其說の主張者で、常に自由民權の大義を說き聽かされ『女子と雖も人間ならずや。人間なれば、天賦の自由あり權利あり、何時までも、女大學を信奉し、古來の陋習に慣れ、卑屈無自覺で男子の玩具奴隷たるに甘んじて居つては、人間の天分を辱しむるものにあらずや。政事の如き女子の關知すべきものでないかのやうに心得て全然男子の獨有に委ねて意にも止めぬとは何事ぞ。いづくんぞ知らん。其身は不具者、低能者として遇せらるゝことを。錦衣玉食何の榮譽ぞ、一身の快樂何の幸福ぞ。今にして目覺め男女同權の地位を獲得し、三千七百萬の同胞姉妹（當時は其數なりし）皆競いて國政に參し、己れのために設けられたる敝制惡法を除去し、男子と共の立憲政體の確立に盡瘁せば早晩女子も參政の權利を獲得すべきなり』と力說せられて、私は感激の餘り淚に咽び、心私かに參政運動を覺悟したのが其時であつた

此處で少し小林氏の人格、學力識見を記したいと思ひましたが、私の政治運動の模樣を記せとの御要求に添ひませんから、止めますが、併し私は如何程同氏の助力を受けたか知れませんので同氏の德望と學識とを生きた學問として亦何日か御紹介したいと思ひます。

私の虚名を博しました、大阪事件の大活劇も小林氏が劇作者で、佛國公使や、後藤象次郎伯や、伊藤博文公、井上馨侯や板垣伯、福澤諭吉先生、其他當時の俠客會津小鐵や諸豪傑をないまぜて、乾坤一擲の計既に成つて風雲將に動かんとするまでに漕ぎつけて、不幸破綻を來せし其經歷を後世に殘したく講談風に平易を旨とし大正十三年十一月號より大正十五年十二月號を以て終完と致しました、博文館發行のポケット雜誌に委曲記載致しましたから、明治廿三年の憲法發布は先輩憂國の諸氏が國會開設請願の運動に因り、專制政治を退け、立憲政體を樹立したる犧牲者なる事も御研究ありたく吾が郷里から國會開設請願書を捧持して上京する小林氏に對し、私の母は大津繪節を作りて同氏に贈つた其歌を記して見やう。

〽すめらみのおためとて、備前岡山を始とし數多の國のますらをが、赤い心を墨で書き、國の重荷を背負ひつゝ命は輕き旅衣、親や妻子を振り棄てゝ。（詩入）去國登京愛國士。傷心國會開設期　チツチンチン雲や霞も程なく消えて民權自由に春の時節がおつゝけ來るわいな

三　演說會

——石が流れて木の葉が沈む——

或る時、大阪事件の檄文起草者山本憲氏、當時岡山新聞社に執筆し、夫人と共に私の宅に屢々訪問して弟子を集め討論會を開き、智識の交換やら發達に努めてゐたが、何を感ぜしか弟子達が是れ程發達して居れば一つ演說會を公開して見たらどうか無論女子に言論の自由なければ、學術演說として其筋の許可を得なけれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ばならぬが試みにやつて見てはと云ふので、私も已惚が出て壇上に立つ氣になり、會場の世話人選などを托して共翌々日早目に會場に行つて驚いたのは、共頃岡山城内に漢學者として門戸を張つて居つた上森某先生の一人娘操子さんとてなか〳〵美人の聞え高く、父先生のお仕込みで漢書の造詣深く、父先生の代講に父先生を凌ぐとの評ある操子さんが、演題を「女子と小人は養ひ難し」と掲げてある事です。驚いたは驚いたが併し評判の操子さんのことゆえ、演題と辯論とは轉倒して、必らず妙辯を揮ひ聽衆をアツト叫ばす考ならんと思ひ直して、私は自分の演題「人間平等論」を出題して控所に順番を待つことにしました。

開會に先立ち會主津下久米子氏一場の挨拶を陳べ、それから、蒸紅學會（即ち父母經營の學校）女生徒炭谷小梅子が「谷間の櫻」といふ題で天賦の自主自由を讃美し、草木然り況んや人間をやと、巧妙に學術演說の範を越えず、喝采裡に降壇、次に同生徒岡田八重子が「石が流れて木の葉が沈む」と云ふ題にて登壇、是は時事政態の轉倒せるを諷し、女子に言論集會の自由なきを慨嘆し、是亦無事降壇、次ぎはいよ〳〵私の演題「人間平等論」で福澤諭吉先生の著「學問の勸め」といふ本の受け賣りで、男女同權論を主張したところ、聽衆は拍手喝采して、ヒヤ〳〵の聲湧くが如く、私も生來嘗て覺えぬ誇りを抱いて降壇しました。

さて次ぎこそ此會の秀一今夜の逸品として聽衆の期待する上森女史の登壇です。私も聽衆と共に興味を以つて待つて居ますと、女史は咳一咳して闘らざりき、演題其まゝに女子を卑下し、孔子樣は女子に三從の道を說かれしと共說明に移らんとする刹那「だまれ、腐儒の上森、八大家の講義の好きな娘、そんな固陋な女大學の講義など聽きに來たのではないぞ、引つ込め、まだ孟子の講義でもした方がよい」と總立ちになり、『代りに景山をモ一度出せ、出ないとあばれるぞ』と喧々囂々實に大騷ぎとなりましたが、山本氏の辯解によつて無事閉會を致しましたが、山本氏も『演題が今日の會に適しないと思つたが、まさか女大學を素で演ぜらるゝとは思はなかつた。時勢に疎き人だ。聽衆に恥をかゝされても自覺せぬ、ほんに腐儒だ。』と氣の毒がつてゐた。

間もなく前以て披露のあつた、岸田俊子氏來岡、當市野田屋町（私の生家、即ち學舍ある町なり）柳川座に於て演說會開催、聽衆雲の如く滿場立錐の地も餘さず、實に盛大を極めました。

言論集會の自由なき岸田女史は、演題も辯舌も總て諷刺的に、例せば、女子に自由なきを諷するに「箱入り娘」と題して流暢の辯を振ひ、聽衆陶然として醉へるが如く傾聽せしむる如き才辯は實に天下一品と評するも過言にあらずと信ず。

私達は、女史の來岡を記念すべく且つ女史の主張に感銘して、岡山女子懇親會なるものを組織し、規則書等も作成して、毎月二回會員の自宅を廻り持ちとして集會する事に決め智識の交換を計り親睦を守りて堅き團結を誓約して居つた。會員は多く自由黨員の細君や妹で、兎に角皆新智識の持主であつた。

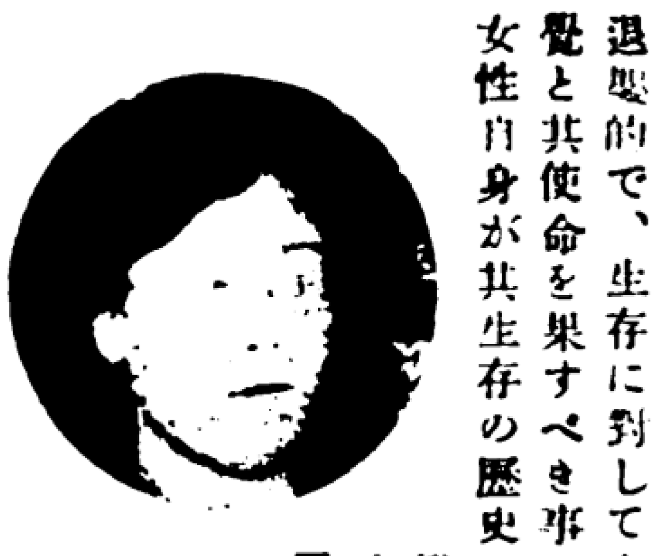
岸田女史には、それつきり再會せぬ。女史は漫遊から歸京間もなく、中島信行子と結婚して、思想も主張も昔日と異なりしやう聞きしゆへ、終に永久再會の機會を得なかつた。

（未完）

なぜ婦選がほしいか？

◇婦選問題に直面して

貞思寮　大平悅子



人間が共生存に於て、男女何れも同等なる權利の所有者である事が本然の眞理であるならば、男子の所有すると同樣に女性自身も共生存の權利を持つ事が自然でなければならぬ。

然るに、今日女性が婦選を要求しなければならないと云ふ事は、既に人間の生存が自然なる均衡を失つて、不自然なる狀態に置かれて居る事を立證するものである。それは元より從來の女性が余りに退嬰的で、生存に對して人間としての自覺と共使命を果すべき事を忘れた爲に、女性自身が共生存の歷史の途中に於て共權利を失ひ、全く奴隷的狀態に置かれて了つたのである。共間に男性は智と勇の二つの力を以つて、生活は男性が主權者として男性の要求に添ひ得る樣に法律も亦社會制度も風習迄も男子の生存に都合のよい樣にして了つた。

けれども、それは決して男性をより幸福に導き得る最善の方法でなかつたといふ事は時代が常に云ひ知れない苦惱と行き詰りの中に置かれて居る事を見ても、自明な事である。男性は男性自身の立場から見ても女性を男性と同等なる生活圏に迄高めねば、男性自身の生活も亦完全なる幸福の地に置かれないであらう。

又女性も如何なる犧牲と如何なる鬪ひを拂つても此生活の不自然を取除いて、只それは女性自身の幸福の爲のみではなく人類としての幸福を地上に齎らし、人生をより最善なるものに爲さしめる行の第一歩として、當然婦選は獲得されなければならない當のものである。

人々は何時迄男性本位の不自然な生活苦に安逸の夢をむさぼらんとして居るのか。婦選は改めて女性からそれを要求しなければならない程のものではなく、當然女性に與へられて居なければならない筈のものである。

◇不合理な法律の改正を

河瀨ケサ

尋常六年の娘が次の話をしました。或生徒が先生に「なぜうちのお母樣は選擧權がないのでせう。」と尋ねたら、先生は「それは知識が足らないからです。」と答へた。子供は更に「では掃除屋さんにはありますか。」「あります。」先生の答を聞いた子供が、今度は「ではお母樣は掃除屋よりも知識が足りないのですか。」といつたけれど、もう先生は「うるさい〳〵」と取合はなかつたそうです。婦人に選擧權がないといふ事はこの少女にさへ不思議に感じられてゐるのです。先頃婦選獲得同盟の創立記念會上ガンドレツト夫人から承つた次の話に、私は非常に感動させられました。大酒飲の夫を持つた一人の婦人が、如何かしてその酒癖を矯正しやうと苦心したが反つて亂暴するので、子供が一人あるのに遂に離婚しました。離婚すれば子供は夫につくものと法律で定められてゐます。せめて相當の年になる迄は自分の手下で育てたいと思つても、法律は許しません。泣く〳〵不安の中に、その子を置いて立ち去らねばならなかつた。此不合理な事實を離れによつて正しきにかへしてもらひませう。我々婦人にとつて不利な定めが一二三に止まりません。それを思ふ時に痛切に婦選がほしいと思ひます。婦選を社會主義と同一視して「まあとんでもない。婦選なんか」とおつしやる方々に、いつもこの話をいたします。

自分の事は自分でするに限ります。誰の補助よりも自分の力が強いのです。自ら立ち自らの手によつて婦選を獲得しようでありませんか。

◇この欄への御投稿を望みます◇

婦選獲得の聲は三十萬の女性の叫びであるべき筈のものであります。女が欲しいものと欲しいと求める事を躊躇した時代は去りました。私達は勇敢に起ち上つてそれ〳〵の立場から、卒直に叫ばうではありませんか。

それにしてもその叫び方がそれぞれの立場に依て異なるのは當然でそれでこそ眞の女性の叫びとなるのであります。その意味でこの欄はあらゆる階級、あらゆる境遇の女性の聲で充されねばなりません。何卒振つて御投稿下さい。二十字詰三十行以下。締切毎月十五日なるべく寫眞を添へること。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獅子身中の蟲

清水智恵

所謂普選に反對したのが特權階級であつたやうに婦選に反對するものも同じく特權階級であります。前者に反對した特權階級はブルジョアであり、後者に反對する特權階級は男性であります。けれどもブルジョアは所謂普選に反對して婦選に贊成したのではありません。所謂普選に反對した位でありますから眞の普選卽婦選をも含めた普選には勿論反對なのでありました。只婦選などは頭から問題視して居なかつたのであります。

從つて所謂普選獲得の爲にはブルジョア丈と鬪へばよかつたのでありますが、婦選は男性とそしてブルジョアとの二重の抗爭を經なければなりません。

ところが、更によく考へて見ますと、男性克服を試みる前に、もう一つの障碍が横づてゐることに氣がつきます。それは女性自身の反對或は無關心であります。これは所謂普選運動の場合にも同樣の障碍に惱まされた筈です。卽無產階級のそれ自體の陣營內に於て普選を危險視し、無用視し、尙早視したことです。ブルジョアに依つて社會組織が支配せられて居る場合、敎育も道德も總べてブルジョアに依つてブルジョアの爲に行はれる爲に、無產階級と雖もその影響を深く受けないわけには行かず、從つて無產者でありながら、無產階級の思想に反對する者が尠ずある譯になるのであります 同じ樣に女性が今日の樣に男性に依つて統制され、男性に依存して生活してゐる男性中心の社會では、女性が男性本位の思想にカブレるのは自然の勢であります。同じ性の人間でありながら、女性が、女性の解放運動に反旗を飜へしたり、然らずとも冷淡であつたりするのは之が爲であります。これを獅子心中の蟲と云ひます。

婦選運動は、男性とブルジョアとの抗爭を試みると同樣の努力を以つて併せて合せて、この獅子心中の蟲卽女性部內に於ける反對を克服し、女性部內に於ける無關心を說得する同性の啓蒙運動に從はねばなりません。かくして婦選獲得運動は二重の特權階級との抗爭以外に、同性に對する啓蒙と云ふ三重の負擔を切り開いて行かなければならない多難な前途を持つて居るものであります。

愛宕山下より

いよ〳〵五十二議會も開かれ、所謂運動季節になりましたが、本年の議會運動は婦選各團體が合同して行ふ事に昨年末申合が成つたので、新年早々提出案の打合をした結果、結社權、公民權、參政權の三案共法律案として出して貰ふやう、提出者もなるべく各政黨から得たいと方針が確定しましたので、爾來議會運動委員會は總動員で、合同運動に參加して居ります。

□

一月廿日の代議士招待會も無論聯合でした。相憎停會日に際會したので殆ど大多數の代議士の出席を得られませんでしたが、解散にしても、休會にしても、やるだけのことはやらねばならぬので、相不變本會議の日には必ず傍聽券を御世話もして居ります。何卒本年も傍聽御希望の方は事務所宛御申込下さい。

□

當面の運動を議會運動委員會に任せて他の各委員會も今年は最初から各自の仕事に多忙を極めてゐます。會員倍加運動で百名近くの新會員を得たのに力を得て會員委員會は近く、近縣諸地方に支部を設置する爲に已に準備に取掛つてゐます

□

政治敎育委員會は適切な時事問題を主とした連續的の講演會を中央に開くと共に政治讀本の發賣に續いて政敎パンフレットを極く一般の婦人大衆向に作らうと計畫を進めてゐます。これらは二月から實行されませう。

□

出版委員會は全力を擧げて『婦選』の編輯に當つてゐます。其上に以上の各委員會の活動力が高まるにつれて、出版の仕事を增すので殆ど毎日會合して白熱的に働いてゐます。

以上の活動が二月以後にはそれ〴〵具體的に皆樣の眼前に展開するのを御期待下さい。

新使命

◇新政治意識の最高權威
◇無產階級及び新興勢力の高唱力說す可き吾國に始めて見る新政策の指導雜誌。
◇全國勞働運動月報及び、地方青年黨紹介は全國の新興勢力運動を詳報す。
◇政局秘話、政界時評は、透徹明快なる筆鋒を以て現實政治に痛烈なる批判をなし、政界裏面の醜狀を發露す
◇定價一冊四十錢、一ケ年分四圓五十錢

發行所 東京丸の內、帝國ホテル側
全國立憲青年同志會
振替東京六九六九番
電話銀座三七九三番

基督敎婦人矯風會機關紙

婦人新報

月刊 一部二十錢
一ケ年分 貳圓四十錢

本會の目標——禁酒 純潔 平和に就て
毎號諸大家の講演を掲載し、尙活動の模樣を述ぶ目下世論として注目されつゝある
公娼制度徹廢及禁酒問題に對する好資料なり。

基督敎婦人矯風會
婦人新報社
東京市外大久保百人町三六〇
振替番號東京四八八七六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯後記

創刊號は出てみると、誤植は多いし、中分だらけで厭になりましたが、それでも方々から意外にお褒めをいたゞいたので、二月號は勢込んで編輯しました。前號よりは余程いゝ積ですが、まだ〳〵物足りはしません。いろいろ注文を出して下さるとよいと思ひます。

× × ×

今月は多少議會を中心に記事を集めてみました。「五十二議會と婦選案」「議會傍聽記」「倖會になつた五十二議會」などそれです。前號にものせた花柳病豫防法案が醫師會っ力で骨拔きになつたので專門家と婦人の二つの立場に立たれる竹內氏を煩はしました。

× × ×

「なぜ婦選が欲しいか」「陣頭の人々」も續ける積です。いづれパンフレツトにでも纏めたらばなどいふ話も出てゐます。婦選講座も英國が終つたら又題目を變へて續けます。「無產政黨と婦人」の樣なのも暫くのせます。

× × ×

平塚氏の原稿、中河氏の歌、皆いいものを喜んで寄せて戴た事を感謝いたします。瀬田英子氏は訪問記にする積でしたが御本人に書いて頂けたので何よりでした。興の續く間かいて下さることになりましたから號を逐ふて皆樣の御待兼の記事となりませう。塚本氏、金子氏のものも身を入れて讀んでいたゞきたく思ひます。（Ｓ）

× × ×

三晩徹夜して今日今印刷屋にやります。こんな小さな體の婦選だけれど、支那臺灣、海外へも旅立つて行きました。大事に育てゝ下さいませ（のぶ子）

× × ×

皆樣に手を引かれてお手傳ひをしてゐる私は、築城されつゝある婦選のために土くれの役でも努めたいと一生懸命です（藤子）

フース・シー

中河幹子氏　小說家與一夫人、英學塾出の歌人として歌の雜誌「ごぎやう」を率ゐてゐられる。

塚本はま子氏　女流教育家として名高い最近は主に生活改善會理事として全國に講演行脚し、社會教育に盡瘁してゐられる。

竹內茂代氏　女醫中での活動家、婦選運動の新人としても華しい働きぶりを示されてる。

河淵けさ氏　戸枚高女の先生永く米國に居られた婦選の熱心な會員。

清水智惠氏　この人も會員の中の新進ミス佐藤時代から婦選の演壇にも數回たゝれた。

大平悅氏　佛教女子青年會の幹部、飯田橋の職業紹介所で働いてゐられる。婦選中央委員。

婦選販賣に就いて

□第一號は約三千部印刷しましたが、已に其大部分を賣り盡し、殘部も少くなりました。別に新聞や雜誌へ廣告を少しも出しませんでしたが、讀者諸氏の御盡力によつて意外の好成績を得たことを喜んで居ります。

□第一號の大口の捌口としては左の如きものがありました。

竹內茂代氏　五〇〇部（至誠會會員へ）
田中芳子氏　二〇〇部
ガンドレツト恒子氏　二〇〇部（日本婦人參政權協會々員へ）

右三氏の內竹內氏、ガンドレツト氏は向ふ六ケ月間、田中氏は向ふ三ケ月間の繼續申込みになつて居ります。尙右の他三十部、五十部の繼續申込は佛教女子青年會、櫻楓會其他の方々より少なからずあります。

□宣傳として御知友の方のために御豫約下さる他、御存知のない方例へば若槻首相等のために豫約下さるといつた方法も面白いと存じます。一ケ年分の誌代六十錢を添へて名前を御申越下されば、當方より先方に其旨申上げ、向ふ一ケ年間發行の都度發送することにいたします。どうぞ〳〵御申込下さい。

婦選案內

本欄は讀者の御便宜のために、求人求職賣買其他雜件の簡單なる廣告欄を設けることにしました。どうぞ御利用下さい。代金は三行一回五十錢（前金）（名在社は十錢増）

▼求　人▲

家事手傳ひの方雇度　二十歲前後裁縫好きの方を求む、姓名在社

▼求　職▲

家庭教師被雇度　通勤にて尋四以下の御子供さんのお相手いたし度し、當方女子師範出身（姓名在社）

婦人子供服裁縫師被雇度　當方熟練者住込みにてもよし、編輯部內伊藤へ

▼賣　買▲

數物買受たし　四疊半若くは六疊數のもの、古物にて可、府下中澁谷七八九、矢部內　林恒子

古雜誌『女學雜誌』『靑踏』『女王』『ビアトリス』『紫紅花』を求む、一冊にても合本にても可、高價讓受たし、書面にて照會を乞ふ。瀧野川中里一九一市川方婦人問題研究所

女子大學講義格安讓度　但一册二學期の分欠本（姓名在社）

▼貸　借▲

小住宅を求む　芝、赤坂、麻布邊にて三、四室の閑靜日當りよき小住宅なるべく二階、庭ある所を望む　府下瀧野川中里一九一　市川房枝

◇本誌定價◇

一部　金五錢（郵稅二錢）
一ケ年　金六拾錢（郵稅共）

▼代金はなるべく前金で拂込は振替で
▼宣傳用として多數の御申込みに對しては左の如く割引いたします
五十部以上　一割引
百部以上　二割引
二百部以上　三割引
▼廣告料については御申込み次第御相談いたします

隆鼻科

隆鼻の話　隆鼻摘出の話　小冊子金二十五錢

東京市京橋區金六町白魚がし（京橋際）
東京隆鼻科院
醫學博士　田中達三郎
電話京橋三七五番

産婦人科　小兒科

隨時入院の需めに應ず

診察毎日　宅診午前　往診午後

院長　吉岡彌生
副院長　吉岡房子

東京市牛込區下宮比町四
東京至誠病院
電話牛込三五五

産科婦人科　小兒科

宅診午前　往診午後

隨時入院の需めに應ず　樹德堂

四谷區三光町一二七
井出醫院
電話四谷一四六〇番
院長　竹內茂代

派出婦派遣

技能ある正直な婦人を責任派遣いたします

小石川石切橋電停際

派出婦會公認
婦人家庭派出婦會
電話牛込二八七四
會長　堀越敏子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(實用新案第六一三七二號)

Trade Mark

S.Y.T.

The "Gossamer"

品質第一

ゴサマー印

ヘヤネット

松屋、白木屋呉服店其ノ他有名小間物店化粧品店ニ販賣イタシテ居リマス是非御愛用願ヒマス

東京丸ノ内三菱廿一號館

發賣元 合資會社 鈴木商店

洋服裁縫教授

晩近漸く婦人解放運動擡頭し、或は政治的に或は經濟的に或は教育的に或は社會的に、各種の方面より自由と平等の要求叫ばれつゝあるも而もその原因を討ねて根本の桎梏たる服装を改善するに非ざるよりは、如何んぞ解放の眞目的を達成するを得んや。本學院は嚢に和服裁縫に於て千餘頁に達する婦人界空前の大著述を完成して其合理的裁縫によりて十萬の會員に慈母の如く慕はれつゝめる會長伊藤錦子女史が、洋服研究の爲歐米に留學歸朝、婦人解放運動の實際的方面として進んで洋装普及の速成料を開校したるものにて合理的組織的なる獨特の教授法を用ふ。

一、洋服裁縫科　修業年限一ケ年　新學期開始四月、九月　授業料一ケ月拾圓(入會金二圓)

二、洋服速成科　修業期間四ケ月　新學期開始四、九、一月　授業料一ケ月十五圓　四ケ月五十五圓

三、洋服研究科　修業期間六ケ月　授業料一ケ月七圓

四、婦人帽子專修科　修業期間一ケ月　四、七、十二月開講　授業料十五圓

東京市神田區小川町一番地

日本文華裁縫學院

電話神田二〇九〇番

院長 伊藤錦子

本誌定價 一部五錢(郵税二錢) 一ケ年六十錢(郵税共)

昭和二年一月二十八日印刷納本
昭和二年二月一日發行

編輯印刷兼發行人 出版委員會委員長 市川房枝
芝區今入町六番地

發行所 東京市芝愛宕町一ノ二五 婦選獲得同盟
電話青山三〇一四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA